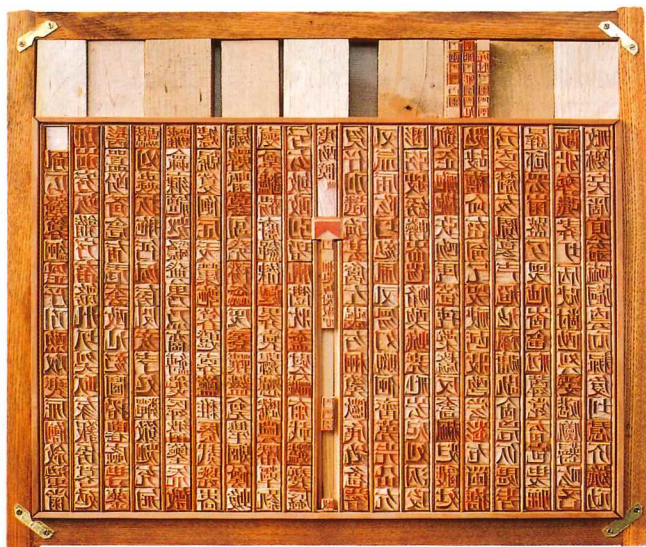


JUMPING *Typography* GRAPHY

躍る文字・弾む活字—現代における文字世界



浅葉克己
Asaba Kazumi

石川九楊
Ishikawa Kyuoyoh

木村卓
Kimura Takeru

グラハム・ウッド
Graham Wood

幸村真佐男
Kohmura Masao

徐冰
Xu Bing

竹清仁
Takekiyo Hitoshi

立花ハジメ
Tachibana Hajime

ニヤーマーダウイ
Nya Madaroui

ネヴィル・ブローディ
Neville Brody

ポリゴン・ピクチュアズ
Polygon Pictures



1994年10月8日(土)→11月6日(日)

開館:10:00~18:30(入館は18:00まで)/休館日:10月13・20・27日(木)

主催・会場:(財)品川文化振興事業団 O美術館 ●協賛:NEC

入館料:一般500円(400円)、高・大生300円(200円)、小・中生100円(50円) ()内は20名以上の団体料金

●講演会 杉浦康平「文字の霊力」:10月19日(水) 18:00~20:00/大崎ニューシティ内 日精ホール

●シンポジウム「現代における文字表現」:11月3日(祝) 14:00~16:00

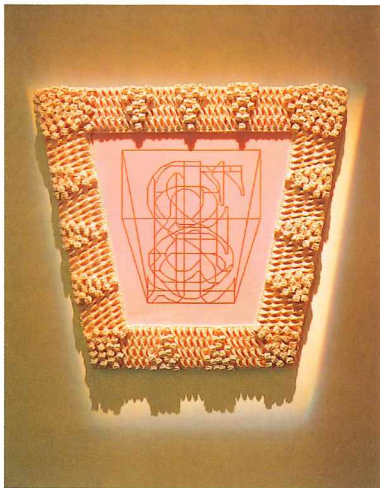
浅葉克己・石川九楊・松岡正剛(司会)/大崎ニューシティ内 日精ホール

●ギャラリートーク 天野一夫(O美術館学芸員):10月8・15・22日・11月5日(土) 14:00~15:00/O美術館内

O美術館

JR山手線大崎駅東口下車徒歩1分

東京都品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ2号館 Tel.03-3495-4040

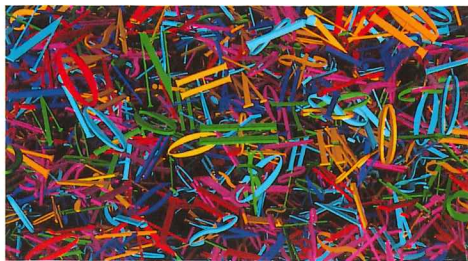


立花ハジメ「S.F.gal」1993年

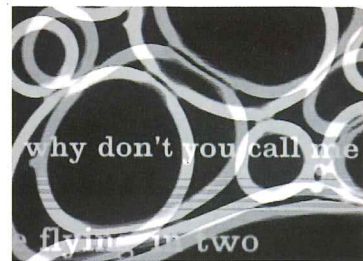
日々の生活の光景に文字の折り込まれていないものを探すのが困難なほどに、文字とともに我々は生活しています。しかし、現代の我々にとっての文字とは、すでにかつての書のように、一画ごとの関係の中から立ち現れる精神的な表現というより、たとえばワープロ印字のように、すでにフロップシー上に記号として備わっているものを、一瞬にしてセレクトし活字化しているにすぎません。そこでは、書くという肉体的な媒介なしに直接印字され、そこでは肉体と結びついた精神性は捨棄されます。その時、かつての書はワープロの書体の一つにすぎません。このような状況のなかで、いかに表現としての文字は可能なのでしょうか。

タイポグラフィは活字・印刷の歴史とともに存在してきましたが、特に近年のコンピュータを駆使したデジタル的処理は、むしろ表現の自由を得て、これまでにない多様な作品が生まれています。書体に固まる以前にかつての文字の持っていた、生気が、この活字という場に転生し、デジタル的にうごめくのです。また、石川九楊らは書の本質を探究しながら、既存の書を反省し、現代のなかでの文字表現をこころみています。

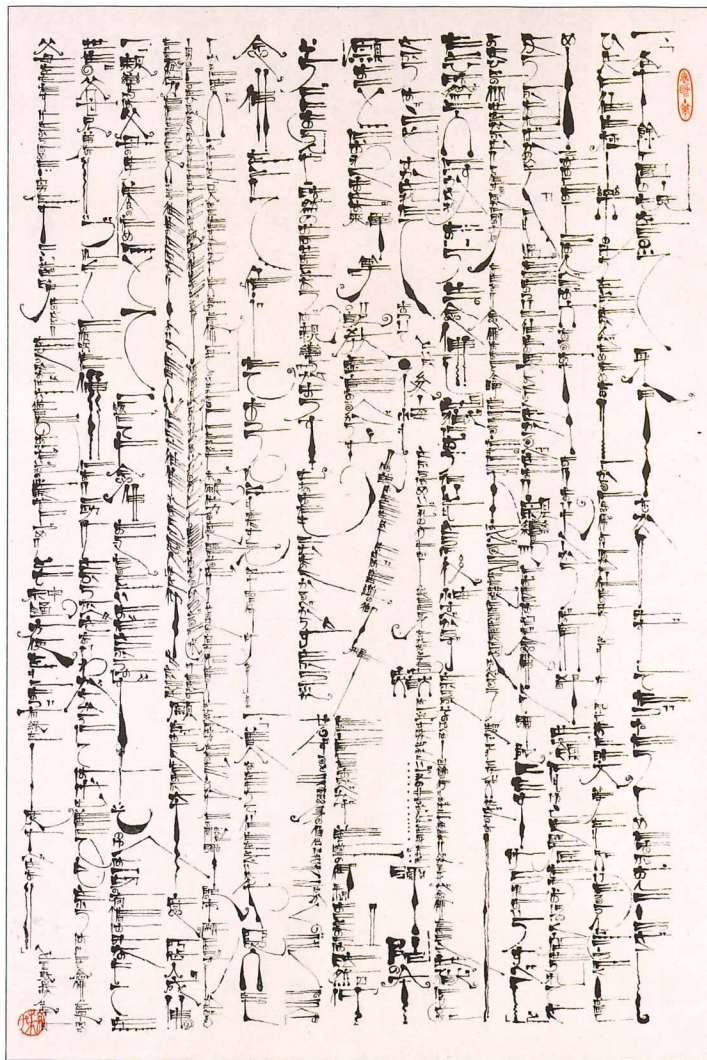
この展観は、デジタルタイポグラフィの表現から、木版、墨書等による新たな制作の展開まで国内外の70余点の作品により、現代における文字表現をかんがえようとする試みです。



POLYGON PICTURES「Opening Title for NHK Hi-VISION」1992年

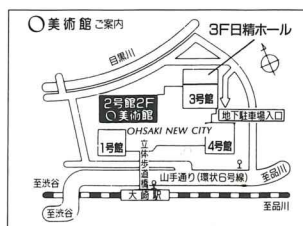


グラハム・ウッド「Under World/Cowgirl」(Promotion Video) 1993年



石川九楊「数異抄No.1」1982年

●交通 JR山手線大崎駅東口下車徒歩1分 東急バス(大井町⇄渋谷駅)大崎駅下車徒歩1分
●駐車場 美術館専用駐車場はございません。お車でご来館の場合、「大崎ニューシティ」地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。



財団法人文化振興事業団

○美術館

東京都品川区大崎1-6-2
大崎ニューシティ2号館
TEL.3495-4040